

牛頸区ホームページ : <http://www.kouminkan.info/onojo/ushikubi/>

牛頸区ホームページは大野城市と南コミュニティホームページのリンク集からもご覧になれます

【一月の行事報告】

●成人の日

一四日、記念式典が「まどかぴあ」で開催されました。市内で一〇五八名の方が成人となられ、牛頸区でも三八名の方が晴れて成人式を迎えられました。心よりお祝いを申し上げます。

●災害図上訓練

一二月一三日に続き一七日に災害図上訓練ワークショップが南コミで開催され執行部を中心に6名が参加しました。今回は東日本の震災を受け想定が見直され、今月の図上訓練は**年12月13日18時、警固断層で直下型地震、震度6弱が発生、余震が続き家屋倒壊・火災発生・2車線以上の道路で通行可能・電気・ガス・水道電話が全て使用不能の想定で始まりました。大野城市でも南地区は断層から離れていて市の他地区とは違いは予想されず。その中でまず緊急避難する一時避難場所(公園や公共施設)また地域で避難の中心・拠点となる公民館・コミュニティ・学校などへの避難道の危険箇所を確認したり、土砂崩れや火災被害の危険度が高い住宅密集地などの確認しました。災害時には通信手段の遮断などで状況把握にも困難をきたすことも想定され、普段の向こう三軒両隣の付き合いがものを言います。お互いに確認をして助け合うことが出来れば被害も少なくなりやすい。備えあれば憂えなし、減災の意識を持ちたいものです。



●牛頸須恵器窯跡整備計画ワークショップ

二六日、市教育委員会文化財課の主催で第四回ワークショップが南コミで開催されました。今回のテーマは「整備活用のテーマを考えよう」でした。

【一月の事業報告】



3つのグループに分かれて活用テーマが提案され次回最後のワークショップに生かされます。各窯跡の見学から始まったワークショップ、4回目を迎えアンケートや提案などから国の史跡指定を受けた窯跡群の活用計画も進みつつあります。地域の大切な資産を後世に残し活用して欲しいものです。



以前からマックスバリュ前に信号か横断歩道をと要望がありました。条件が整わず警察の許可が出ないので市が実現可能な最善策として「交差点注意」と上下車線に道路に表示をしました。

また、公民館リサイクル庫の分別が出来ていないルール違反が見受けられたり、倉庫扉が動かなくなったりで修理が続く、表示を見やすくしています。対応策として防犯カメラでリサイクル庫の監視が出来るようにしました。ルールとマナーの順守をお願い致します。



【二月の主な行事予定】

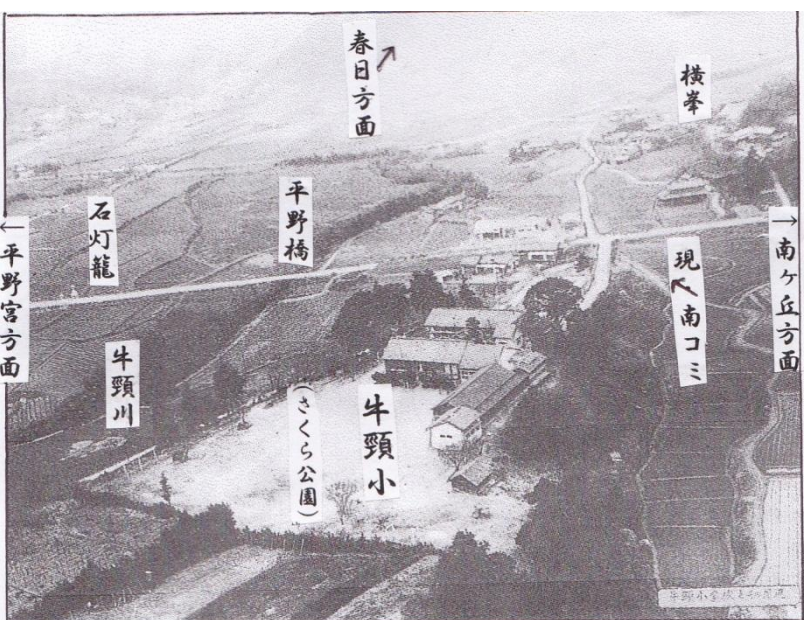
- 二日 隣組長会
- 三日 暴力追放！地域決起会議 まどかぴあ
- 六日 福岡県公民館実践交流会 グローバープラザ
- 十六日 大野城市子ども・若者育成フォーラム
- 十六日 福岡地区公民館研修会 ミリカローデン那珂川
- 二二日 高齢者と女性団体合同研修会
- 二三日 牛頸須恵器窯跡整備計画ワークショップ

スエちゃんのお牛頸ばなし

第七十三回 牛頸の学校 その三

昭和四十六年四月、南ヶ丘に大野南小学校が開校。十一年には大利中学校が出来て大利小と大野南の卒業生が通学開始。更に五十二年(1977)牛頸区横峰の丘に平野小学校が開校し、牛頸区在住の四百七十余名が南小から入りました。平野小開設の時「牛頸小」にする声も挙がったのですが、結局「平野」の名を採ることになりました。五十六年には上牛頸ハセムシに平野中学校が開校して大利中へ通っていた生徒が入学しました。そして平成七年に月の浦区が分区分、翌八年月の浦小学校が開校して月の浦区と平野台区の計七十七名が入り、平野小の生徒はかなり減りました。このようにお宮のそばに始まった小学校は四回移転し九回も校名が変わるといふ紆余曲折の道を通りました。私は終戦の翌年に先祖の地、牛頸に住み付いたので牛頸の学校には通っていません。牛頸小学校の思い出話は「牛頸郷土史」に詳しく懐かしく面白く載っています。

竹田 準



牛頸小学校とその周辺 (昭和36年ごろ)

